

「顕現日」 (大祝日・祭色：白)

1月6日は顕現日です。英語では「エピファニー」と呼ばれ、桑名エピファニー教会の名前はここからつけられています。聖公会ではかつてこの日を「現異邦日(げんいほうじつ)」と呼んでいました。顕現とは神さまが人の前に現われることを言いますが、特に顕現日は、神さまが異邦人に対して顕現されたことをおぼえるのです。

福音書は東方の占星術の学者たちが星を頼りにイエス様を礼拝する場面が読まれ、この日をもってクリスマスを祝う季節は幕を閉じます。